



正月の間玄関を飾った花や木と孫

80歳になった。
この節目を契機に車を運転するのを止め、運転免許証を返上することにした。

50年以上の「車有り」の生活との別れは寂しさが多少ある。しかし今はそんなことはどうでもいい話に思え始めた。

このことを一番喜んでいるのは家族だ。もし人身事故を起こせば取り返しがつかないことになる。

高齢者の事故のテレビニュースを見る度に良い決断をしたと自画自賛して

いる。同時にこのこと

とが家族の絆を強めてくれた。

車を運転していた時の、便利でスピード社会との別れなどを考えもしなかつた。しかし、その生き方を捨ててみると、案外に沢山のことを見つけることが出来たのに驚く。

これからは、この新しい価値感の中で、今までとは異なる人生を日本古来の伝統・文化を大切にしながらゆっくりと楽しみたい

高齢者の事故のテレビ

ニュースを見る度に良い決

断をしたと自画自賛して

さらば車の運転! ~新しい価値感と共に~



藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)



年末に友人宅で行った餅つき

正月の間、玄関を飾つてくれた花や木。それを

じつくりと見ながら思う

事は、花や木が咲いてい

てくれる時だけが自然のもので

庭に咲く名も知らない

花が、私たち人間が原点

に立ち返ることの大切さを

教えてくれているようだ。

車のない生き方の大切さも

ここに示されているように

思える。いわばその新しい

価値感を自然と共有し、

生きて行こうと思う。

妻はこの私の変化を黙つ

て毛糸を編みながら見

守ってくれている。多分、

心の中で自分で決断した

今回のことを喜んでいるの

だろう。

友人に話すと私の決断を喜んでくれ、自宅で鍋を囲んで、祝ってくれた。また、車返納が終わった時点では、家族全員集合し、一大決心を祝ってくれるという。思わぬところで、家族全員が集まる機会ができた。結婚以来の一大決心。もう後戻りは出来ない。前方には夢がある。希望の夢がある。

これからは冬の間は枯れていったようと思える。春を迎えるためにはこの冬が大切なのだ。ずっと昔から生きてきた植物たちが大好きな植物たちは私たち人間の大先輩である。

ここに示されているように思える。いわばその新しい価値感を自然と共有し、生きて行こうと思う。

妻はこの私の変化を黙つて毛糸を編みながら見守ってくれている。多分、心の中で自分で決断した今回のことを喜んでいるのだろう。

友人に話すと私の決断を喜んでくれ、自宅で鍋を囲んで、祝ってくれた。また、車返納が終わった時点では、家族全員集合し、一大決心を祝ってくれるという。思わぬところで、家族全員が集まる機会ができた。結婚以来の一大決心。もう後戻りは出来ない。前方には夢がある。希望の夢がある。